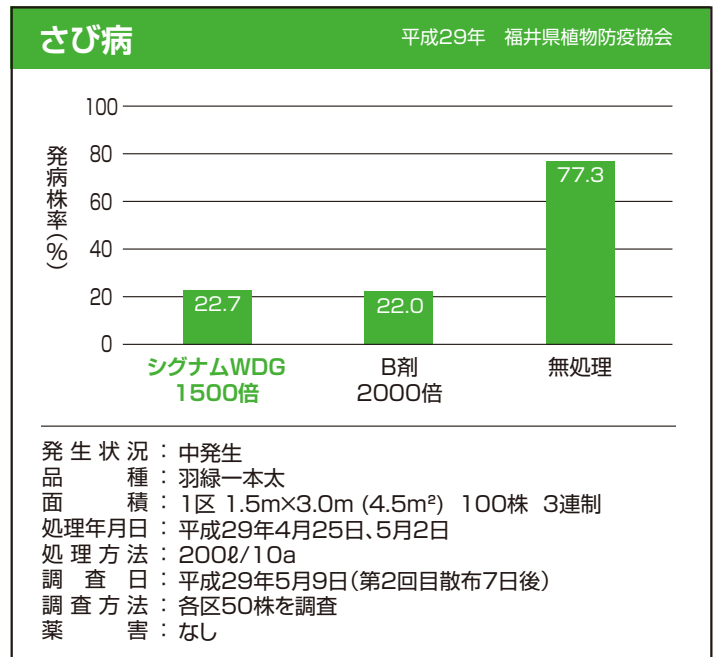
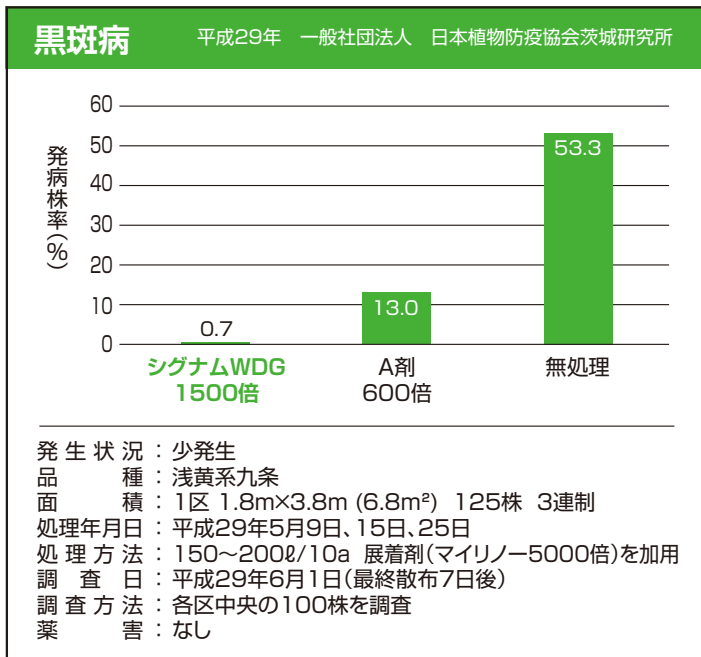
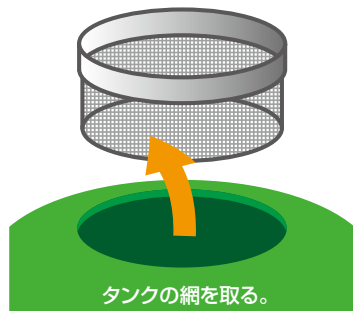


■シグナムWDGのネギ病害の試験事例



シグナムWDGの溶かし方

タンクに水を張った後、タンクの網を取って、直接タンクにさらさらと振るように入れてください。



※シグナムWDGは水中での分散性が優れているので、タンクの中でただちに分散し均一に溶け込みます。

■シグナムWDGの登録内容(ねぎ抜粋)

作物名	適用病害名	希釈倍率	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピラクロストロピンを含む農薬の総使用回数	ボスカリドを含む農薬の総使用回数
ねぎ	べと病 黒斑病 さび病	1500倍	100～300ℓ/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内	3回以内

△効果・薬害等の注意

- 散布液調製の際は、水をかきまぜながら本剤の所定量を徐々に加えてください。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用は避け、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
- なすに使用する場合、浸透性を高める効果のある展着剤を加用すると薬害が生じるおそれがあるので、さけてください。
- 蛭に対して影響があるので周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

△安全使用上の注意

- 誤飲・誤食などのないよう注意してください。
- 誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。
- 本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。

眼に入った場合には直ちに水洗い、眼科医の手当を受けてください。

- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。
- 付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 使用の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
- 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに洗顔してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

△水産動植物への注意

- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。
- また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

△貯蔵上の注意

- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器は農場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2019年6月の知見に基づいて作成されています。

BASFジャパン株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階
☎0120-014-660 <https://agriculture.basf.com/jp>